

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2018年49週 (12月1週 12/3~12/9)

2018年11月報

愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

◇トピックス

集団かぜの発生、インフルエンザ、伝染性紅斑、麻しん・風しん

◇定点医療機関コメント

インフルエンザ、感染性胃腸炎、咽頭結膜熱、マイコプラズマ感染症、A群溶血性レンサ球菌感染症、水痘、手足口病等

◇全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(30)、レジオネラ症(1)、アメーバ赤痢(1)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(6)、急性脳炎(2)、侵襲性インフルエンザ菌感染症(1)、侵襲性肺炎球菌感染症(9)、水痘(入院例に限る。)(2)、梅毒(8)、百日咳(12)、風しん(3)

◇2018年11月報

◇定点把握感染症報告数 (保健所別、年齢別)

○「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

◆集団かぜの発生(健康対策課発表)

発表日	管轄保健所	ネットあいち URL
12月3日	一宮、瀬戸、春日井、豊川、江南、衣浦東部、	集団かぜの発生について (2018-2019 シーズン) http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/syuudan_kaze2.html http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/ichiran18-19.pdf
12月4日	豊川、江南、衣浦東部	
12月5日	衣浦東部	
12月6日	江南	
12月7日	一宮、西尾	

【参考ページ】

名古屋市: 集団かぜによる学級閉鎖等の状況 (12月11日更新)
<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-11-0-0-0-0-0.html>

岡崎市: インフルエンザ、集団かぜの発生状況 (12月11日更新)
<http://www.city.okazaki.lg.jp/1100/1107/1146/p015469.html>

◆インフルエンザ

岡崎市保健所の定点あたり報告数が注意報レベル10を上回ったため、愛知県は12月12日インフルエンザ注意報を発令しました。49週の定点あたり報告数は3.43、48週273人→49週669人です。2018/2019シーズンに病原体定点等から寄せられた検体よりA型(AH1pdm09)インフルエンザウイルスが検出されています。

【参考ページ】

“インフルエンザ注意報”を発令します(12月12日発表)

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/30inlu-chuihou.html>

保健所別・定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数マップ

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/influ_map_new.html

インフルエンザ情報ポータルサイト(愛知県)

<http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/index.html>

◆伝染性紅斑(図)

伝染性紅斑はヒトパルボウイルス B19 の感染による「リンゴ病」と呼ばれることもある疾患です。

49週の定点あたり報告数は0.43、48週63人→49週79人(1.25倍)です。

◆麻しん・風しん(12月12日現在、診断日集計)(表)

愛知県の2018年麻しんの報告数は37件(うち8月1件、9月4件、10月5件、11月1件)、2017年総報告数は1件でした。全国の2018年48週までの累積報告数は267件です(2017年総報告数は189件)。

愛知県の2018年風しんの報告数は113件(うち8月9件、9月45件、10月34件、11月19件、12月3件)、2017年総報告数は3件でした。全国の2018年48週までの累積報告数は2,454件です(2017年総報告数は93件)。

【参考ページ】

風しんの患者数の増加に伴う注意喚起について

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/0000061107.html>

本県における麻しん・風しん患者発生報告状況(2018)

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl_2018.html

疾患別ウイルス検出状況 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

麻しん・風しんの予防接種は2回受けましょう http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/hi_4.html

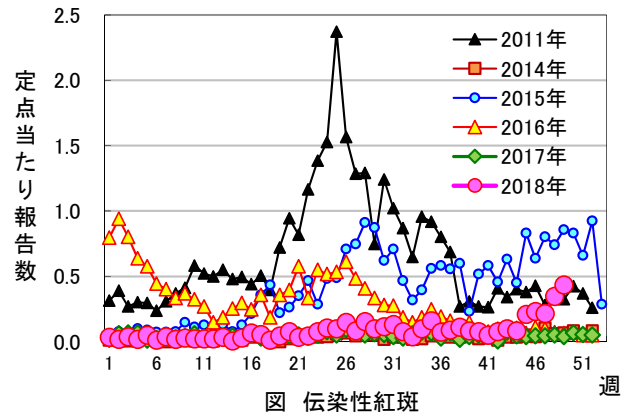


表 風しんの男女別・年齢階級別報告数及びワクチン接種状況 (2018年報告例)

ワクチン接種	男				女				総計
	有	無	不明	計	有	無	不明	計	
年齢階級	0-9	1			1				1
	10-19		1		1	1	1	2	3
	20-29	1	7	6	14	2	1	5	8
	30-39	1	7	22	30				30
	40-49	1	7	24	32	1	2	4	7
	50-59	1	5	7	13			1	1
	60-69			2	2			1	1
70-79			1	1					1
総計	5	27	62	94	3	4	12	19	113

(愛知県、2018年12月12日現在)

定点医療機関コメント（名古屋市除く）**尾張西部地区**

- インフルエンザ 6人すべてA型
【一宮市 あさのこどもクリニック】
- 感染性胃腸炎を認める
【一宮市 後藤小児科医院】
- 便ノロウイルス 2名
【一宮市 ささい小児科】
- インフルエンザA型 6名
【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】
- インフルエンザA型 2名
溶連菌感染症流行続いています。
感染性胃腸炎やや減少
手足口病 3名
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
- アデノウイルス感染症
PCF 3例 EKC 3例
ノロ感染 1例
手足口病 2例
インフルA 3例
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
- 溶連菌 19名と増加
手足口病 2名
A型インフルエンザによる学級閉鎖が 2箇所
ありました。
【扶桑町 医療法人 tsukushi つくしこどもクリニック】
- インフルエンザA 7名
【北名古屋市 田中クリニック】
- 44歳女 インフルエンザA
6歳女 病原大腸菌O8 検出
感染性胃腸炎多発です。
水痘 2人
【清須市 丹羽医院】
- インフルエンザA型 71歳男 1名
【津島市 医療法人参育会加藤医院】
- インフルエンザはすべてA型です。
【愛西市 医療法人谷本医院】

尾張東部地区

- インフルエンザA型 8名
胃腸炎 20名
【日進市 みやがわクリニック】
- インフルエンザA型 3名
溶連菌感染症流行
水痘 9歳女 ワクチン接種歴1回
1歳女 カンピロバクター腸炎
マイコプラズマ肺炎もみられます。
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
- インフルエンザA型 1名
【長久手市 医療法人水野内科】
- インフルエンザ陽性報告 6名(小児1名、
成人5名 すべてA型)
RSVは落ちついています。
fluはまだ集団ではなさそうです。
水痘、ADVが局所的にありそうです。
【春日井市 春日井市民病院】
- 胃腸炎多数
A型インフル 2例(兄妹)
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
- まだ年長児のマイコプラズマ感染症みられます。
【小牧市 小牧市民病院】
- インフルエンザはA型です。
水痘も続いています。
【小牧市 志水こどもクリニック】
- 感染性胃腸炎が多いようです。
【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】
- 感染性胃腸炎多し
【南知多町 医療法人大岩医院】
- インフルエンザA型 1人
【武豊町 なかしまキッズクリニック】
- インフルエンザB型 2名
インフルエンザA型 1名
【大府市 まえはらこどもクリニック】
- ウイルス性胃腸炎が多かったです。
アデノウイルス感染症 2名(4歳)
インフルエンザA 2名(2歳)
【東海市 もしもしこどもクリニック】
- インフルエンザはA型 2名
【東海市 こいで内科医院】
- インフルエンザA型 4名
感染性胃腸炎(ノロ) 3名
【東海市 公立西知多総合病院】

西三河地区

- RSV(+) 5 か月女
FluA(+) 4名
StrepA(+) 咽頭培養にて GAS(+) 5歳男 4歳男
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
- マイコ 1名(5歳男)
インフルA 6名
【豊田市 すくすくこどもクリニック】
- インフルA 3名
【豊田市 愛知県厚生農業協同組合連合会足助病院】
- インフルエンザA型 4名
【岡崎市 医療法人糸洲医院ともキッズクリニック】
- インフルエンザ感染症散見されます。全てA型です。
【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】
- インフルエンザA型 5名
【岡崎市 医療法人志貴こどもクリニック】
- インフルエンザ 合計20人 全てA型
学校内の流行はあるが、まだ地域内の流行ではない。
【岡崎市 栗屋医院】
- アデノ(咽) 4歳女
急激にインフルエンザ増加(52例)
A型(pdm)数例確認
伝染性紅斑も散発 3例
【岡崎市 花田こどもクリニック】
- インフルエンザA型 1名
【岡崎市 医療法人永坂内科医院】
- インフルエンザは全てA型
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】
- インフルエンザA 9人
【岡崎市 にいのみ小児科】
- 感染性胃腸炎が目立ちます。
A型インフルエンザ散発
【碧南市 永井小児クリニック】
- FluA 18名
【刈谷市 田和小児科医院】
- インフルエンザA型 11名
【安城市 愛知県厚生農業協同組合連合会安城更生病院】
- インフルエンザA 1名
感染性胃腸炎 29名
【知立市 宮谷クリニック】
- 胃腸炎が目立ちました。
インフルエンザA 増加傾向
【西尾市 山岸クリニック】
- インフルエンザA 5名
【西尾市 西尾市民病院】

東三河地区

- 6歳男 マイコプラズマ抗原陽性
感染性胃腸炎 流行中
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】
- インフルエンザA型 3名(29歳男 44歳女
57歳女)
【豊橋市 医療法人山本内科】
- インフルエンザA 1名
【豊川市 豊川市民病院】
- 病原性大腸菌O166 6歳女
インフルエンザA型 1名
【豊川市 ささき小児科】
- 家族にてノロウイルス腸炎あり
【田原市 かわせ小児科】
- ロタ 1歳女 1名
マイコプラズマ肺炎 3名
【豊川市 総合青山病院】
- アデノウイルス 3名(内プール熱 1名)
インフルエンザA 1名
病原性大腸菌O18 1名
病原性大腸菌O1 1名
【蒲郡市 畑川クリニック】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2018年12月12日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki jun180501.pdf>

● 結核（二類感染症）

報告保健所	2018年49週報告数			2018年総計(1～49週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲
名古屋市	15	4	1	546	138	130
豊田市				64	13	14
豊橋市	3	1		84	10	41
岡崎市	3	2		44	12	11
一宮	1			106	26	35
瀬戸	2	2		99	19	35
半田	1		1	57	21	17
春日井	1			85	13	24
豊川	1			43	8	12
津島	1		1	89	17	15
西尾				30	5	4
江南				37	10	6
新城				4		2
知多	1		1	58	21	11
清須				32	12	11
衣浦東部	1		1	75	13	21
合計	30	9	5	1,453	338	389

四類・五類感染症（全数把握）（感染経路、感染地域は推定も含む）

● レジオネラ症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染地域
1	名古屋市	81歳	男	肺炎型	国内

● アメーバ赤痢（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染経路	感染地域
1	名古屋市	38歳	男	腸管アメーバ症	経口	国内

● カルバペナム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	感染経路	感染地域	90日以内の海外渡航歴
1	名古屋市	65歳	男	以前からの保菌	国内	無
2	豊田市	65歳	男	手術部位感染	国内	無
3	春日井	69歳	女	医療器具関連感染	国内	無
4	春日井	67歳	男	医療器具関連感染	国内	無
5	知多	85歳	男	不明	国内	無
6	知多	70歳	男	以前からの保菌	国内	無

● 急性脳炎（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染地域
1	瀬戸	0歳	女	病原体不明	国内
2	瀬戸	1歳	女	病原体不明	国内

● 侵襲性インフルエンザ菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	豊橋市	70歳	女	不明	国内

● 侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	名古屋市	15歳	男	有	国内
2	名古屋市	45歳	男	不明	国内
3	豊田市	81歳	男	不明	国内
4	豊田市	75歳	男	無	国内
5	豊橋市	1歳	男	有	国内
6	豊橋市	68歳	女	不明	国内
7	岡崎市	3歳	男	有	国内
8	瀬戸	68歳	女	不明	国内
9	春日井	68歳	女	無	国内

● 水痘（入院例に限る。）（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	名古屋市	5歳	男	有	国内
2	津島	36歳	女	無	国内

● 梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染経路	感染地域
1	名古屋市	41歳	男	早期顕症	性的接触	国内
2	名古屋市	28歳	女	早期顕症	性的接触	国内
3	名古屋市	76歳	男	無症候	不明	国内
4	名古屋市	66歳	男	晚期顕症	不明	国内
5	一宮	27歳	女	早期顕症	不明	国内
6	豊川	30歳	男	早期顕症	性的接触	国内
7	津島	46歳	男	早期顕症	性的接触	国内
8	江南	35歳	男	早期顕症	性的接触	国内

● 百日咳（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染経路・感染地域等
1	名古屋市	0歳	男	無	家族内感染
2	名古屋市	7歳	男	有（追加接種有）	国内
3	名古屋市	16歳	男	有（追加接種有）	家族内感染
4	名古屋市	13歳	女	不明	国内
5	名古屋市	13歳	男	有（追加接種有）	国内
6	名古屋市	44歳	男	不明	国内
7	名古屋市	32歳	女	不明	国内
8	瀬戸	0歳	女	無	家族内感染
9	春日井	78歳	男	無	国内
10	豊川	30歳	男	不明	国内
11	江南	6歳	女	有（追加接種有）	国内
12	江南	10歳	女	有（追加接種有）	国内

● 風しん（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	名古屋市	44歳	女	不明	国内、アメリカ合衆国
2	名古屋市	42歳	男	不明	不明
3	豊田市	29歳	男	無	国内

11月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況〔()は無症状病原体保有者再掲〕

2017～2018年に報告のあった 疾病名及び病型 ()内は全数把握対象疾病数	2018年11月			2018年	2017年	
	愛知県 (名古屋を除く)	名古屋市	愛知県全体	累計 ＜愛知県全体＞	総計 ＜愛知県全体＞	
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	
二類 (7)	結核	82 (18)	49 (14)	131 (32)	1,420 (384)	
三類 (5)	コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	
	細菌性赤痢	0 (0)	0 (0)	0 (0)	13 (2)	
	腸管出血性大腸菌感染症	7 (4)	0 (0)	7 (4)	178 (42)	
	腸チフス	1 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	
	パラチフス	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	
四類 (44)	E型肝炎	0	0	0	5	
	A型肝炎	0	0	0	35	
	エキノコックス症	0	0	0	0	
	オウム病	0	0	0	0	
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	
	チクングニア熱	0	0	0	1	
	つつが虫病	1	0	1	2	
	デング熱	3	2	5	21	
	日本紅斑熱	0	0	0	1	
	ブルセラ症	0	0	0	0	
	マラリア	0	0	0	2	
	類鼻疽	0	0	0	1	
	レジオネラ症	5	4	9	154	
	レプトスピラ症	0	0	0	1	
	五類 (24)	アメーバ赤痢	1	2	3	41
		ウイルス性肝炎	2	0	2	6
		内訳	B型	2	0	2
その他			0	0	0	1
カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感染症		9	4	13	142	
急性弛緩性麻痺** (急性灰白髄炎を除く。)		1	2	3	11	
急性脳炎		4	1	5	33	
クロイツフェルト・ヤコブ病		0	0	0	3	
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1	0	1	43	
後天性免疫不全症候群		1	0	1	83	
内訳		無症候性キャリア	1	0	1	60
		AIDS	0	0	0	20
		その他	0	0	0	3
ジアルジア症		1	0	1	3	
侵襲性インフルエンザ菌感染症		0	0	0	30	
侵襲性髄膜炎菌感染症		0	0	0	4	
侵襲性肺炎球菌感染症		9	7	16	176	
水痘(入院例に限る。)		1	1	2	23	
梅毒		14	17	31	411	
内訳		無症候	0	8	8	106
		早期顕症	14	9	23	293
		晚期顕症	0	0	0	12
		先天梅毒	0	0	0	0
播種性クリプトコックス症		1	0	1	16	
破傷風		0	0	0	5	
バンコマイシン耐性腸球菌感染症		0	0	0	2	
百日咳*		31	17	48	374	
風しん	7	7	14	110		
麻しん	0	0	0	37		
薬剤耐性 アシネトバクター感染症	0	0	0	0		
総計	183	113	296	3,356	2,872	

* 2018年1月1日に「百日咳」が五類感染症(全数把握)に追加されました。

** 2018年5月1日に「急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)」が五類感染症に追加されました。

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

疾病名	2018年11月			2018年 累計	2017年 総計			
	愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体 合計	愛知県全体 合計			
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	男	33	52	85	817	909	1,586
		女	30	26	56	624	677	
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	8	9	17	216	223	536
		女	17	8	25	308	313	
	尖圭コンジローマ	男	8	15	23	204	211	307
		女	9	2	11	101	96	
	淋菌感染症	男	19	40	59	503	462	528
		女	3	3	6	70	66	
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		82	5	87	885	1,001	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		8	2	10	110	154	
	薬剤耐性緑膿菌感染症		0	0	0	2	3	

感染症法に基づく獣医師からの届出状況

感染症の名称及び動物の種類	2018年11月			2018年 累計	2017年 総計
	愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体	愛知県 全体
エキノコックス症の犬	0	0	0	3	0

感染症の類型及び定義(感染症法)

2018年5月1日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (44疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症* (48疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスのよるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

* 2018年1月1日に「百日咳」は定点把握疾患から全数把握疾患に変更されました。

2018年5月1日に「急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)」が五類感染症に追加されました。

グラフ総覧

2018年49週(12月3日～12月9日)

愛知県(名古屋市データ含む)の1999年13週から2018年49週までの定点(基幹・インフルエンザ・小児科・眼科)当たり報告数のうち、本年を含む過去5年間及び特徴的に推移した年についてグラフ化したものです。

*各疾病のグラフを個別に利用される場合は、衛生研究所ウェブサイトからExcelファイルをダウンロードしてください。

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.zip> *ExcelファイルはZIP圧縮してありますので適当な場所に解凍後ご利用ください。

